

# 第 1 5 章 家庭

第 1	教科目標，評価の観点及びその趣旨	家 - 1
第 2	各科目の評価の観点の趣旨	家 - 1
第 3	原則履修科目における内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例	家 - 3
	生活産業基礎	家 - 3
第 4	題材の評価に関する事例	家 - 7
	生活産業基礎	家 - 7

## 第 1 5 章 家庭

### 第 1 教科目標，評価の観点及びその趣旨

#### 1 教科目標

家庭の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，生活産業の社会的な意義や役割を理解させるとともに，家庭の各分野に関する諸課題を主体的，合理的に解決し，社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

#### 2 評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
生活産業や家庭の各分野に関する諸問題について関心をもち，その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに，創造的，実践的な態度を身に付けている。	生活産業や家庭の各分野に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	生活産業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，実際の仕事を合理的に計画し，適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。	生活産業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，生活産業の社会的な意義や役割を理解している。

### 第 2 各科目の目標及び評価の観点の趣旨

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
生活産業基礎	生活と産業とのかかわりや生活に関連する職業について関心をもち，生活関連分野のスペシャリストとして必要な知識と技術を進んで習得しようとする意欲と態度を身に付けている。	生活と産業とのかかわりや生活産業と職業に関する学習を通して，家庭に関する学科のより専門的な学習と卒業後の進路について思考を深めている。	生活と産業とのかかわりや生活産業と職業に関する学習活動を計画し，実践するとともに，その成果を的確に表現する。	生活と産業とのかかわり，生活産業の意義と役割，生活に関連する各分野の職業について理解している。
発達と保育	乳幼児の発達の特徴，乳幼児の生活と保育などに関心をもち，子どもの健全な成長を図ることを目指して意欲的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。	子どもの健全な成長に関する諸問題の解決を目指して思考を深め，学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。	乳幼児の発達の特徴，乳幼児の生活と保育などに関する技術を身に付け，適切に乳幼児とかわることができるとともに，それを通して得た成果を的確に表現する。	乳幼児の発達の特徴，乳幼児の生活と保育などに関する知識を身に付け，保育の必要性と意義を理解している。
家庭看護・福祉	病気の予防と家庭看護，高齢者の介護などに関心をもち，家庭看護や高齢者介護の充実を目指して意欲的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。	家庭看護や高齢者介護に関する諸問題の解決を目指して思考を深め，学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。	家庭看護，高齢者介護などに関する基礎的な技術を身に付け，家庭看護や介護の実習等を計画し実践するとともに，その成果を的確に表現する。	病気の予防と家庭看護，高齢者の介護などに関する知識を身に付け，家族の健康管理や家庭看護，介護の意義と役割を理解している。
ファッションデザイン	ファッションデザインの基礎，発想と表現法，商品企画などに関心をもち，ファッションを創造的にデザインすることを目指して意欲的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。	ファッションを創造的にデザインすることを目指して思考を深め，学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。	ファッションデザインの基礎，発想と表現法，商品企画などに関する技術を身に付け，デザインの発想をファッション画や各種材料によって表現したり，商品企画をしたりすることができる。	ファッションデザインの基礎，発想と表現法，商品企画などに関する知識を身に付け，ファッション産業の意義と役割を理解している。

フ ー ド デ ザ イ ン	食生活に関する諸問題に関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、食事を総合的にデザインしようとする実践的な態度を身に付けている。	食事を総合的にデザインすることを目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。	栄養，食品，献立，調理，テーブルコーディネートなどに関する技術を身に付け、食事を総合的にとらえて計画・実践できる。	栄養，食品，献立，調理，テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付け、食事の意義と役割や豊かな食事について総合的に理解している。
食 文 化	食生活の変遷と文化，日本と世界の食文化などに関心をもち、食文化の伝承と発展・創造を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	食文化の発展・創造を目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。	日本と世界の食文化などに関する技術を身に付け、日本の食文化を伝承するとともに、新たな食文化を創造することができる。	食生活の変遷と文化，日本と世界の食文化などに関する専門的な知識を身に付け、食文化の伝承と創造の意義や重要性を理解している。

### 第3 原則履修科目における内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

#### 生活産業基礎

##### 1 目標

生活と産業とのかかわりについて理解させ、生活に関連する職業などへの関心を高めるとともに、必要な知識と技術を進んで習得しようとする意欲と態度を育てる。

##### 2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
生活と産業とのかかわりや生活に関連する職業について関心をもち、生活関連分野のスペシャリストとして必要な知識と技術を進んで習得しようとする意欲と態度を身に付けている。	生活と産業とのかかわりや生活産業と職業に関する学習を通して、家庭に関する学科のより専門的な学習と卒業後の進路について思考を深めている。	生活と産業とのかかわりや生活産業と職業に関する学習活動を計画し実践するとともに、その成果を的確に表現する。	生活と産業とのかかわり、生活産業の意義と役割、生活に関連する各分野の職業について理解している。

##### 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準

生活産業基礎においては、学習指導要領の(1)や(2)などの大項目を内容のまとめりとして、これらごとに評価規準を作成した。

##### (1) 「(1) 生活と産業」

###### 【学習指導要領の内容】

###### (1) 生活と産業

###### 【「(1) 生活と産業」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
衣食住などの生活と様々な産業とのかかわりについて関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。		衣食住などの生活と様々な産業とのかかわりについて調べ、まとめたり発表したりすることができる。	家庭生活の変化に気付き、衣食住などの生活が様々な産業に支えられていることを理解している。

###### 【「(1) 生活と産業」の評価規準】の具体例

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・実際の生活や各種の調査などから、食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などの生活と、それらを支える産業とのかかわりについて考えようとしている。		・家庭生活の変化、食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などと様々な産業とのかかわりについて調べ、まとめたり発表したりすることができる。	・家庭生活の変化に気付き、食生活、衣生活、住生活、家庭経営、保育などの生活が様々な産業に支えられていることを理解している。

##### (2) 「(2) 社会の変化と生活産業」

###### 【学習指導要領の内容】

###### (2) 社会の変化と生活産業

###### ア 社会の変化と価値観の多様化

###### イ 産業構造の変化と生活産業の発展

【「(2) 社会の変化と生活産業」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会の変化と価値観の多様化，産業構造の変化と生活産業の発展について関心を持ち，意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	社会の変化と生活産業とのかかわりについて，具体例を通して思考を深めている。	社会の変化と価値観の多様化，産業構造の変化と生活産業の発展について調べ，まとめたり発表したりすることができる。	社会の変化と価値観の多様化，産業構造の変化と生活産業の発展について理解している。

【「(2) 社会の変化と生活産業」の評価規準】の具体例

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術革新の進展，国際化，情報化，少子高齢化などの社会の変化について関心をもっている。</li> <li>・社会の変化に伴うライフスタイルの変化，価値観の多様化，消費者のニーズの多様化・高度化について関心を持ち，自分の生活とかわらせて考えようとしている。</li> <li>・社会の変化に伴う産業構造の変化と生活産業の発展について関心をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術革新の進展，国際化，情報化，少子高齢化などの社会の変化とライフスタイルの変化，価値観の多様化，消費者のニーズの多様化・高度化などのかかわりについて，身近な事例を通して考えを深めている。</li> <li>・産業構造の変化と生活産業の発展について，考えを深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術革新の進展，国際化，情報化，少子高齢化などの社会の変化と価値観の多様化，産業構造の変化と生活産業の発展について調べ，まとめたり発表したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術革新の進展，国際化，情報化，少子高齢化などの社会の変化について理解している。</li> <li>・社会の変化に伴うライフスタイルの変化，価値観の多様化，消費者のニーズの多様化・高度化について理解している。</li> <li>・社会の変化に伴う産業構造の変化の概要について理解している。</li> <li>・消費者の多様なニーズに伴う，生活産業の発展の状況について理解している。</li> </ul>

(3) 「(3) 生活産業と職業」

【学習指導要領の内容】

- (3) 生活産業と職業
- ア 食生活関連分野
  - イ 衣生活関連分野
  - ウ 住生活関連分野
  - エ ヒューマンサービス関連分野

【「(3) 生活産業と職業」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
食生活，衣生活，住生活，ヒューマンサービスなどに関する分野の生活産業の種類や特徴，関連する職業について関心を持ち，意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	食生活，衣生活，住生活，ヒューマンサービスなどに関する分野の生活産業と職業に関する学習の中から課題を見付け，解決を目指して思考を深めている。	産業現場等の見学，就業体験，調査などの学習活動を計画し，実践するとともに，その成果を的確に表現することができる。	食生活，衣生活，住生活，ヒューマンサービスなどに関する分野の生活産業の種類や特徴，意義と役割，関連する職業について理解している。

【「(3) 生活産業と職業」の評価規準】の具体例

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外食産業などにおける商品開発やメニュー開発、調理などの方式、販売やサービスの方法などに関心をもっている。</li> <li>・ 調理師、栄養士などの食生活に関連する職業や資格について関心を持ち、調べようとしている。</li> <li>・ アパレル産業における商品の企画、生産、販売方法などに関心をもっている。</li> <li>・ デザイナー、パタンナーなどのファッションに関連する職業や資格について関心を持ち、調べようとしている。</li> <li>・ マンションの模様替えや、住宅のリフォームなどに関心をもっている。</li> <li>・ インテリアプランナー、インテリアコーディネーターなどの住生活に関連する職業や資格について関心を持ち、調べようとしている。</li> <li>・ 介護福祉士や保育士などのヒューマンサービスに関連する職業や資格について関心を持ち、調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業現場等の見学、就業体験、調査などの学習活動の中で、自分なりに課題を見付け、解決を目指して考え、工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業現場等の見学、就業体験、調査などについて、計画を立てて実践するとともに、学習活動のレポートをまとめたり、発表したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食生活が変化している実態について、身近な生活とかかわらせて理解している。</li> <li>・ 給食や外食産業などの意義と役割、関連する職業に必要な知識や技術、資格などについて理解している。</li> <li>・ ファッションに対する関心が高まっている実態について理解している。</li> <li>・ アパレル産業等の意義と役割、関連する職業に必要な知識や技術、資格などについて理解している。</li> <li>・ 住意識が変化し、住居に対する関心が高まっている実態について理解している。</li> <li>・ インテリア産業の意義と役割、関連する職業に必要な知識や技術、資格などについて理解している。</li> <li>・ 社会の変化に伴ってヒューマンサービスの需要が拡大している実態について理解している。</li> <li>・ 高齢者福祉サービスや児童福祉サービス等の意義と役割、関連する職業に必要な知識や技術、資格などについて理解している。</li> </ul>

(4) 「(4) 職業生活と自己実現」

【学習指導要領の内容】

(4) 職業生活と自己実現

【「(4) 職業生活と自己実現」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<p>専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業と職業資格について関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業と職業資格に関する学習を通して、将来の職業生活と進路選択について思考を深めている。</p>	<p>職業資格の取得方法などについて調べたり、進路目標に応じた学習プランを立てたりすることができる。</p>	<p>職業・勤労の意義、専門科目の学習と職業生活とのかかわり、職業における職業資格の意義や取得方法について理解している。</p>

【「(4) 職業生活と自己実現」の評価規準】の具体例

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業と職業資格について関心をもち、調べたり学習プランを立てようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門科目の学習と職業生活とのかかわりや、職業と職業資格に関する学習を通して、将来の職業生活と進路選択について、具体的に考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業資格の取得方法などについて調べたり、進路目標に応じた学習プランを具体的に検討することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業・勤労の意義，専門科目の学習と職業生活とのかかわり，職業における職業資格の意義や取得方法について，自分の進路目標とかわらせて理解している。</li> </ul>

#### 第4 題材の評価に関する事例

##### 生活産業基礎

ここでは、原則履修科目である生活産業基礎の「(3)生活産業と職業」の指導に当たって、各学科の特色や生徒の実態等に応じて、「ア 食生活関連分野」を取り上げて指導と評価の工夫を行った事例を紹介する。

なお、ここで扱う「食物バザーの店舗の企画」は、店舗の企画について具体的に検討する学習活動として、文化祭での模擬店を取り上げたものであり、特別活動の内容を授業で行ったものではない。

題材名 「食生活関連分野の産業と職業」 (17時間)

##### 1 題材の目標

食生活関連分野の生活産業の種類や特徴、関連する職業について、産業現場等の見学・調査などから理解させ、学習活動の成果を発表させることなどを通して生活産業への関心を高めさせるようにする。

題材の指導計画	(総授業時数	17時間)
(1)食生活の変化と食生活関連産業のかかわり		
インターネットを活用した調査	2時間	
調査結果の分析とまとめ	2時間	
ポスターセッションによる発表	4時間	
(2)店舗見学による外食産業の実態調査	4時間	
(3)食物バザーの店舗の企画		
模擬店のテーマと内容	1時間	
模擬店の企画	2時間	
企画案の決定	1時間	
(4)食生活関連産業の職業と資格	1時間	

##### 2 題材の評価規準

【(3)生活産業と職業，ア食生活関連分野】

食生活関連産業の職業と資格について，  
「(4)職業生活と自己実現」で扱う部分は省略

	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解
内容との ま評 と価 ま規 り準	食生活,衣生活,住生活,ヒューマンサービスなどに関する分野の生活産業の種類や特徴,関連する職業について関心を持ち,意欲をもって学習活動に取り組んでいる。	食生活,衣生活,住生活,ヒューマンサービスなどに関する分野の生活産業と職業に関する学習の中から課題を見付け,解決を目指して思考を深めている。	産業現場等の見学,就業体験,調査などの学習活動を計画し,実践するとともに,その成果を的確に表現することができる。	食生活,衣生活,住生活,ヒューマンサービスなどに関する分野の生活産業の種類や特徴,意義と役割,関連する職業について理解している。
題材の 評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>食生活に関連する産業や職業について関心を持ち,調べようとしている。</li> <li>外食産業などにおける商品開発やメニュー開発,調理などの方式,販売やサービスの方法などに関心を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業現場等の見学,調査などの学習活動の中で,自分なりに課題を見付け,解決を目指して考え,工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業現場等の見学,調査などについて,計画を立てて実践するとともに,学習活動のレポートをまとめたり,発表したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査などを通して食生活が変化している実態について理解している。</li> <li>外食産業など食生活関連産業の意義と役割について理解している。</li> <li>食生活に関する職業や資格などについて理解している。</li> </ul>

### 3 指導と評価の計画

「(3)生活産業と職業」の指導計画から、単位時間における指導目標を明確にし、生徒の学習活動を想定し、「内容のまとめりごとの評価規準」をより具体化した「学習活動における具体の評価規準」を観点ごとに次のようにまとめた。示された具体の評価規準は、「おおむね満足できると判断される」状況(B)を表している。また、評価方法についても、ワークシート例1～11として示した。

題 材	ね ら い	学 習 活 動	時 間	ア 関心・意欲・態度
(1)食生活の変化と食生活関連産業のかかわり	食生活の変化の実態と食生活関連産業の種類や特徴について調べることができる。	・グループごとに与えられたキーワードを用い、各自が我が国の食生活の変化と食生活関連産業の発展について、関連する情報をインターネットを利用して検索・収集する。	2	食生活の変化や食生活関連産業の種類や特徴について関心をもち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。 (ワークシート例1の(3)d)(取組状況の観察)
	食生活の変化と食生活関連産業のかかわりについて、自分なりにまとめることができる。	・収集した情報を用いて食生活関連産業の種類や特徴をまとめる。 ・収集した情報を用いて、食生活関連産業の発展にかかわる食生活の変化を考え、学習カードにまとめる。	2	
	食生活の変化と食生活関連産業のかかわりについて、グループで調査結果を発表用にまとめることができる。	・グループごとに学習カードを集め、分類したり整理したりしながら、食生活の変化と食生活関連産業のかかわりについて話し合う。 ・検索結果を発表用にまとめる。	2	ポスターセッションの計画・準備に協力して取り組み、調査結果を分かりやすくまとめようとしている。 (取組状況の観察)
	ポスターセッション形式での発表を通して、食生活の変化と食生活関連産業のかかわりを考え、生活関連産業の意義と役割を理解することができる。	・発表内容をポスターセッション形式で発表する。 ・発表内容から食生活が変化している実態と食生活関連産業の変化や課題について理解したことをまとめる。	2	ポスターセッションに意欲的に取組、発表内容から気付いたことをまとめようとしている。 (ワークシート例4の(1)) (取組状況の観察)

学習活動における具体の評価規準			評価方法等
イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解	
	<p>キーワードに基づき、関連する情報の検索・収集を行うことができる。 (ワークシート例1の(3)c)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート例1</li> <li>・観察(取組状況)</li> </ul>
<p>収集した情報を用いて、食生活の変化と食生活関連産業のかかわりを考えている。 (ワークシート例2の(2)) (学習カード)</p>	<p>収集した情報を適切に利用することができる。 (ワークシート例2の(3)) (学習カード)</p>	<p>食生活関連産業とかがかわる食生活の変化が分かる。 (ワークシート例2の(5)) (事後のペーパーテスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート例2</li> <li>・ペーパーテスト(事後)</li> <li>・学習カード</li> </ul>
<p>グループ内の意見を参考にしながら、食生活の変化と食生活関連産業のかかわりについて考えを深めている。 (ワークシート例3の(3))</p>	<p>調査結果から理解したことや、考察した内容を分かりやすくまとめることができる。 (ポスターの内容*)(ワークシート例3の(5))</p>	<p>食生活関連産業の意義や役割について理解している。 (ワークシート例4の(2)) (事後のペーパーテスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート例3</li> <li>・ワークシート例4</li> <li>・ポスターの内容</li> <li>・ペーパーテスト(事後)</li> <li>・観察(取組状況)</li> </ul> <p>*はグループごとの評価</p>
	<p>ポスターセッション形式で発表することができる。 (取組状況の観察)</p>		

題 材	ね ら い	学 習 活 動	時 間	ア 関 心・意 欲・態 度
(2)店舗見学による外食産業の実態調査	外食産業の実態調査を通して消費者ニーズへの対応に関心を持ち、販売方法など企業の工夫について理解することができる。	・デパート地下食品売り場，量販店，レストランチェーン店，専門レストラン店，ファーストフード店，喫茶店などから種類の違う三つ以上の店舗を見学し，客層，メニュー，価格，店内の様子，テイクアウトのための工夫など外食産業の実態を調査し，特徴についてワークシートにまとめる。	4	外食産業について関心を持ち，意欲的に実態調査に取り組んでいる。 (ワークシート例5) (取組状況の観察)
(3)食物バザーの店舗の企画	模擬店の出店計画を通して，経営する立場から販売やサービス方法などを企画することができる。	・実態調査を参考に，文化祭に出店する模擬店（食物バザー）のテーマと内容を決定する。	1	模擬店のテーマと内容について関心を持ち，意欲的にテーマ設定に取り組んでいる。 (取組状況の観察)
		・模擬店の内装・外装をデザインし，販売員の服装やテイクアウト用パッケージをグループごとに考案する。	2	模擬店の企画に関心を持ち，店舗や販売員の服装，パッケージの考案に意欲的に取り組んでいる。 (ワークシート例8) (取組状況の観察)
		・提案された店舗および販売員の服装，テイクアウト用パッケージについて機能，デザイン，コストなどを検討し，採用する案を決定する。	1	提案された企画について機能，デザイン，価格などを考慮し，採用する案を適切に評価し，投票することができる。 (ワークシート例9)
(4)食生活関連産業の職業と資格	食生活関連産業における職業と資格が分かる。	・食生活関連産業における職業と，それに必要な資格について，教科書等を用いて調べ，まとめる。	1	食生活関連産業における様々な資格や職業について興味・関心を持ち，意欲的に学習活動に取り組んでいる。 (ワークシート例11)

学習活動における具体の評価規準			評価方法等
イ 思考・判断	ウ 技能・表現	エ 知識・理解	
<p>外食産業に関する店舗を比較し、それぞれの店舗の特徴や消費者ニーズに対応するための企業の工夫について考察を深めている。 (ワークシート例5の(8))</p>	<p>外食産業に関する店舗見学の計画を立て実践し、見学した内容を項目にそってまとめることができる。 (ワークシート例5の(1)~(8))</p>	<p>外食産業において、消費者ニーズに対応するための店舗の工夫を理解している。 (ワークシート例5の(4)~(7)) 実態調査を通して、食生活関連産業の職業の種類が分かる。 (ワークシート例5の(8))</p>	<p>・ワークシート例5 ・観察(取組状況)</p>
<p>模擬店の形態や、会場、費用などを考慮して、テーマや内容を考えている。 (ワークシート例7)</p>	<p>テーマ設定とその内容について検討すると共に、その理由を的確に表現することができる。 (ワークシート例7)</p>		<p>・ワークシート例7 ・観察(取組状況)</p>
<p>模擬店経営に必要な事柄について思考を深め、店舗および販売員の服装、パッケージのデザインなどについて創意工夫している。 (ワークシート例8)</p>	<p>模擬店の店舗および販売員の服装、パッケージのデザインを分かりやすく表現することができる。 (ワークシート例8)</p>	<p>模擬店の企画に必要な機能、デザイン、コストなどの基礎的知識を理解している。 (ワークシート例8)</p>	<p>・ワークシート例8 ・観察(取組状況)</p>
<p>提案された企画について、機能、デザイン、価格などから検討を重ね、採用する案について思考を深めることができる。 (ワークシート例9)</p>	<p>提案された企画について、機能、デザイン、価格などから自分の考えをまとめ、発表することができる。 (発表の観察)</p>	<p>模擬店の経営に必要な事柄を説明することができる。 (ワークシート例9)</p>	<p>・ワークシート例9 ・観察(発表)</p>
		<p>食生活関連産業の職業と資格について理解している。 (ワークシート例11)</p>	<p>・ワークシート例11</p>

【参考資料】

ワークシート例 1

グループごとのポスターセッションにむけ、一人一人が情報収集を行う学習である。したがって、キーワードはグループによっておよその分類を行っているが、生徒の実態や興味・関心に応じて分類の中から選択して検索して良い。

食生活の変化と食生活関連産業の種類や特徴について調べてみよう

\_\_\_\_\_ 班  
\_\_\_\_\_ 年 組 番 氏名

(1) インターネットを使って、次のキーワードと食生活の変化の関連について、情報を検索・収集してみよう。

[各グループが担当するキーワードの例]

班	キーワード分類
班	外食、内食、中食、デパ地下、スローフードなど
班	特定保健用食品、栄養補助食品(サプリメント)、機能性食品など
班	ファミリーレストラン、ファーストフード、スローフード、チェーンストア、セントラルキッチンなど
班	コンビニエンスストア、スーパーマーケット、POSシステム、ロジスティックスなど

[具体的な学習活動の例]

- ・キーワードの意味や定義を調べる。
- ・キーワードに関して最近書かれた論文などを読む。
- ・「(キーワード)」と「食生活の変化」を入力し、検索を行う。

[情報収集の際の留意点]

誰が言っているのか、どこに書かれているのかなど、情報源を明らかにしておく。  
(今後、記入が必要になる。)

(2) 検索に使用したキーワードを書いてみよう。表の例だけでなく検索に使用したキーワードも書いておこう。

(3) 検索結果を提出しよう。

- a) 検索結果をプリントアウトする。
- b) それぞれの検索結果に情報源を記入する。
- c) キーワードと食生活の変化の関連について記述されている部分に、鉛筆でアンダーラインを引く。  
ウ技能・表現
- d) あなたが最も興味・関心をもった内容に色のラインを引く。 ア関心・意欲・態度

## ワークシート例 2

本時の学習活動は、グループによるポスター製作を行う前の個人作業である。検索結果から得られた内容を一人一人が「学習カード」に表わし、次時にはグループで個人カードを集め、分類・整理しながら、発表用ポスターの内容や構成を考える。グループでのまとめを能率的に行うと同時に、個人の考えや気付きを大切にすねらいがある。

### 食生活の変化と食生活関連産業とのかかわりについて学習カードにまとめてみよう

前時の検索結果と教科書などを参考にしながら、食生活の変化と食生活関連産業とのかかわりについて、一人一人が学習カードにまとめよう。

\* 学習カードには、引用した情報源を記入すること。

- (1) 検索結果を読み返しながらか、収集した情報を整理する。
- (2) 自分なりに食生活の変化と食生活関連産業とのかかわりについて考え、短い文章にまとめたり図式化したりするなどして分かりやすく学習カードにまとめよう。  
(異なる内容は、学習カードを変えて記入しましょう。)      イ思考・判断
- (3) 必要な写真や図表を補足しよう。      ウ技能・表現  
補足資料の内容  
・  
・  
・
- (4) 情報検索や学習カード記入を通して、グループでのポスター発表のテーマを自分なりに考えよう。

主題

副題 (必要な場合)

- (5) 今日の学習から分かったことを書こう。      エ知識・理解

< 学習カード (A5版程度の自由に記入できる用紙) への記入例 >

#### 昭和50年代の日本の食生活

米や野菜、魚などの伝統的食生活に肉、乳製品などが加わり、理想的な「日本型食生活」として国際的に知られていた。

#### 現代の食生活

脂質、たんぱく質の摂取が過剰になり、糖尿病や高血圧、心疾患などの生活習慣病を引き起こす要因にも。  
インスタント食品の普及やファストフード、いわゆる「デバ地下」の総菜、配食サービスなど、外部化、サービス化が進んでいる。

( 新聞Webページから )

< テーマ例 >

- ・食の外部化・サービス化、簡便化
- ・食の洋風化
- ・食の高級化・多様化
- ・人口の高齢化と健康志向
- ・食品加工技術の進歩と多様な加工食品の出現
- ・外食産業の発展
- ・食品流通業の発展と多様化

### みんなの情報をまとめてポスターを作ろう

- (1) 学習カードを集め、分類・整理しながら意見交換し、ポスターの構成を考えよう。  
(□内には収集した班員名と情報源を記入する。)

<記入例>

1 デパ地下の変化について

班員名( 大学卒業論文)

2 コンビニ弁当の食材について

班員名( チェーン店Webページ)

班員名( アンケート調査)

- (2) 内容にふさわしいテーマ名を決めよう。

<記入例>

テーマ「食の多様化 - 食の多様化の現状を知ろう - 」

- (3) グループ内の意見を参考にし、食生活の変化と食生活関連産業のかかわりについて考えたこと、分かったことを書こう。

イ思考・判断

- (4) (3) を発表し合い、グループでの考察をまとめてみよう。

- (5) 分かりやすくまとめる工夫をしよう。

ウ技能・表現

- (6) 情報や考察をまとめ、ポスターを完成させよう。

- (7) ポスターセッションの役割分担をしよう。

ワークシート例 4

ポスターセッションをしよう

( 1 ) 各グループの発表内容や発表のしかたについて、評価してみよう。

評価項目 発表の内容は分かりやすくまとめられていたか。  
 分かったことや考察したことが説明されていたか。  
 発表態度はよかったか。

評価規準 評価はA～Cの3段階  
 ( A : とてもよい B : 普通 C : 努力が必要 )

ウ技能・表現

発表 番号	テーマ	評価項目			総合 評価	発表を聞いて気付いたこと、分かったことを具体的に書こう。
1						ア関心・意欲・態度
2						

( 2 ) ポスターセッションを終えて、食生活の変化と食生活関連産業のかかわりについて分かったことをまとめよう。

工知識・理解

・食生活の変化と食生活関連産業の発展のかかわり

・食生活関連産業のこれからの課題

( 3 ) 感想・反省

ワークシート例 5

次の資料をもとに、マーケットリサーチの方法について説明を受けた後、生徒は興味・関心のある店舗を選択し、店舗見学の計画を立てる。店舗の見学は各自で、休日等を利用して行う。

「マーケットリサーチ」 - 食生活関連の店舗見学をしよう -

目的

食生活関連分野の産業として、実際に店舗を見学し、1学期に学習したことを踏まえて分析考察をする。

方法

テーマ 「マーケットリサーチ」～食生活関連の店舗見学をしよう～

実施方法

【調査】・・・A～Fのグループから合計三つ以上の店舗を見学し、調査用紙の項目に従って、その特徴を記録する。絵や図があると分かりやすい。

- 条件 a 二つ以上のグループにわたること。  
b テイクアウト商品のある店舗を一つ以上入れること。(次の学習でテイクアウトの店舗の企画をするため)

グループ		具体例
A	デパ地下	デパート地下食料品売り場(デパ地下)など
B	量販店	スーパーマーケット・コンビニエンスストア ディスカウントストアなど
C	レストランチェーン店	ファミリーレストランなど
D	専門レストラン (高級・カジュアル)	西洋料理・日本料理・中華料理など
E	ファーストフード店	ハンバーガー・ドーナツなど
F	その他	喫茶店など

【分析・考察】・・・店舗見学の結果、どのようなことが分かったか。  
グループ内での比較、違うグループでの比較、食生活関連分野の店舗全体の特徴など思ったこと、考えたこと、気付いたことをまとめる。

【資料】・・・店でもらったメニューや店の案内、写真など。

マーケットリサーチワークシート

↓ ア 関心・意欲・態度 , イ 思考・判断 ,  
ウ 技能・表現 , エ 知識・理解

【調査】 図などを使って気付いたことを記録しよう。

(1) 見学日時		年 月 日 ( )	時 分 ~ 時 分	天候 ( )
(2) 店舗	店舗の種類	店名		
		場所・立地状況		
(3) 客	客層(男女・年齢・人数)			
(4) メニュー	主なメニューと価格帯		印象に残ったメニューについて詳しく記録する	
	味			
	盛り付け (テイクアウト商品ならパッケージの様子・工夫)			

(5) 店内	広さ・テーブル配置	食器・インテリア・照明など
(6) 店員	人数・担当している仕事	服装
(7) 特徴	全体の印象など	
(8) 感想・考察		

### ワークシート例 6

\*この自己評価は、教師の指導の改善に生かすための資料とする。

店舗見学の学習活動を振り返ってみよう		
(1) 自分の学習への取組方を評価してみよう。		
	項 目	評 価
関心・意欲・態度	・店舗見学と調査の学習には、関心をもって取り組むことができたか。	よくできた      できた      やや不十分      不十分
	・店舗の見学と調査については意欲的に、目的意識をもって取り組むことができたか。	よくできた      できた      やや不十分      不十分
技能・表現	・店舗見学と調査のための準備、下調べなど計画は十分できたか。	よくできた      できた      やや不十分      不十分
	・店舗見学と調査は、項目にそって、分かりやすくまとめることができたか。	よくできた      できた      やや不十分      不十分
思考・判断	・店舗を比較し、十分な分析と考察ができたか。	よくできた      できた      やや不十分      不十分
(2) 感想・反省		

ワークシート例 7

模擬店のテーマを決めよう	
模擬店の テーマ	<p><b>記入例</b></p> <p>店名「 <sup>オーイチ</sup>チャイナ01 」 中華点心テイクアウトの店</p>
設定理由 と内容	<p><b>記入例</b></p> <p>店名の「<sup>オーイチ</sup>01」は1組という意味で、「おーい！」という意味もあります。</p> <p>テイクアウトの商品は、大量調理がしやすく、さめてもおいしく食べられ、テイクアウトしやすい中華点心としました。例えばごままんじゅうやちまきなどです。必ず火を通すので、衛生的でもあり、模擬店に適していると思います。大きさもあまり大きくないので、パッケージも考えやすいと思います。</p> <p style="text-align: right;">イ思考・判断      ,      ウ技能・表現</p>

ワークシート例 8

個人が考えた模擬店のテーマをもとにクラスで検討して、一つに決定する。決定したテーマに基づいて、店舗の企画書を各人で作成する。企画書は、店舗の内装・外装、販売員の服装、パッケージについてそれぞれA4用紙一枚にまとめる。

文化祭の食物バザーに出店する店舗をコーディネートしてみよう	
条件	<p>テーマと内容はクラスで決定したもの テイクアウト商品であること（店内で食べていくスペースは作ってもよい） 店舗について・・・テーマにあった内装・外装を工夫する。価格、スペースを考慮すること 販売員の服装・・・テーマにあったもので、高校生らしい服装とし、各自で製作可能なものとする。 パッケージについて・・・デザインは持ち運びがしやすく、衛生的で楽しいものを工夫する。 使用後の処理のしやすさ、数量や価格を考慮すること。</p>

**1 店舗の内装・外装について(店舗の名前も含めて)**

ア関心・意欲・態度      ,      イ思考・判断      ,      ウ技能・表現      ,      エ知識・理解

## 2 販売員の服装について

ア関心・意欲・態度 , イ思考・判断 , ウ技能・表現 , エ知識・理解

## 3 パッケージについて

ア関心・意欲・態度 , イ思考・判断 , ウ技能・表現 , エ知識・理解

〔生徒記入例〕

The student's report is organized into three columns:

- Column 1 (Left):** Titled "1. 商品パッケージの種類" (Types of Product Packaging). It lists and illustrates various packaging forms:
  - ① 箱型包装 (Box packaging)
  - ② 袋状包装 (Bag packaging)
  - ③ 筒状包装 (Cylindrical packaging)
  - ④ 折りたたみ包装 (Foldable packaging)
  - ⑤ 巻き包装 (Roll packaging)
  - ⑥ 吊り下げ包装 (Hanging packaging)
  - ⑦ 空気入れ包装 (Inflatable packaging)
  - ⑧ 真空包装 (Vacuum packaging)
  - ⑨ 緩衝包装 (Cushioning packaging)
  - ⑩ 冷蔵包装 (Refrigerated packaging)
  - ⑪ 防湿包装 (Moisture-proof packaging)
  - ⑫ 防臭包装 (Deodorant packaging)
  - ⑬ 防汚包装 (Anti-soiling packaging)
  - ⑭ 防虫包装 (Anti-insect packaging)
  - ⑮ 防霉包装 (Anti-mold packaging)
  - ⑯ 防凍包装 (Anti-freeze packaging)
  - ⑰ 防熱包装 (Anti-heat packaging)
  - ⑱ 防光包装 (Anti-light packaging)
  - ⑲ 防電包装 (Anti-electric packaging)
  - ⑳ 防磁包装 (Anti-magnetic packaging)
  - ㉑ 防放射線包装 (Anti-radiation packaging)
  - ㉒ その他 (Others)
- Column 2 (Middle):** Titled "2. 商品パッケージのデザイン" (Product Packaging Design). It includes a drawing of a box with a cloud graphic and a list of design considerations:
  - ① 商品の特性を表現する (Express the characteristics of the product)
  - ② 商品の魅力を表現する (Express the appeal of the product)
  - ③ 商品の価値を表現する (Express the value of the product)
  - ④ 商品の個性を表現する (Express the personality of the product)
  - ⑤ 商品のイメージを表現する (Express the image of the product)
  - ⑥ 商品のターゲットを表現する (Express the target of the product)
  - ⑦ 商品の競争相手を表現する (Express the competitors of the product)
  - ⑧ 商品の市場を表現する (Express the market of the product)
  - ⑨ 商品の流通経路を表現する (Express the distribution channel of the product)
  - ⑩ 商品の販売方法を表現する (Express the sales method of the product)
  - ⑪ 商品の価格帯を表現する (Express the price range of the product)
  - ⑫ 商品の品質を表現する (Express the quality of the product)
  - ⑬ 商品の信頼性を表現する (Express the reliability of the product)
  - ⑭ 商品の安全性を表現する (Express the safety of the product)
  - ⑮ 商品の環境性を表現する (Express the environmental friendliness of the product)
  - ⑯ その他 (Others)
- Column 3 (Right):** Titled "3. 販売員の服装" (Sales Staff Uniform). It features a drawing of a person in a uniform with arrows pointing to specific items:
  - ① 清潔感 (Cleanliness)
  - ② 統一感 (Unity)
  - ③ 機能性 (Functionality)
  - ④ 美観 (Aesthetics)
  - ⑤ 耐久性 (Durability)
  - ⑥ 快適性 (Comfort)
  - ⑦ 安全性 (Safety)
  - ⑧ 環境性 (Environmental friendliness)
  - ⑨ その他 (Others)

ワークシート例9

提案の方法については、クラス全体を5～6人の班に分け、まず班で一つの案に絞る。その後、クラス全体で班ごとにプレゼンテーションをしたり、あるいは掲示による発表をしたりする。各班の提案について、各自が十分検討できる時間を設定し、投票できるようにする。

↓ ア関心・意欲・態度、イ思考・判断、エ知識・理解については、下表の1～3の項目から総合的に判断する。

**採用したい案の番号を一つずつ選んでください。**

項 目	採用番号	理 由
<b>1 店 舗</b> (内装・外装, 店の雰囲気 を考え投票する)		
<b>2 販売員の服装</b> (テーマにあった服装で, 文化祭にふさわしいデザイン である)		
<b>3 パッケージのデザイン</b> (テイクアウト用パッケージ にふさわしいデザインで 安全・衛生・環境に配慮さ れている)		

ワークシート例10

\*この自己評価は、教師の指導の改善に生かすための資料とする。

**模擬店企画についての学習を振り返ってみよう**

(1)自分の学習への取組方を評価してみよう

項 目	評 価
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	・ 店舗計画に関心をもち、模擬店の店舗、販売員の服装、パッケージの考案に意欲的に取り組むことができたか。 よくできた      できた      やや不十分      不十分 [ ]
	・ 提案された企画について、機能、デザイン、価格等を検討し、投票することができたか。 よくできた      できた      やや不十分      不十分 [ ]
思 考 ・ 判 断	・ 文化祭にふさわしい模擬店の形態、会場、費用、客層などを考慮し、模擬店のテーマや内容について創意工夫することができたか。 よくできた      できた      やや不十分      不十分 [ ]
技 能 ・ 表 現	・ 文化祭のテーマの設定理由などについて分かりやすく説明することができたか。 よくできた      できた      やや不十分      不十分 [ ]
	・ 模擬店の店舗、販売員の服装、パッケージのデザインについて自分の考えをワークシートに分かりやすく表現することができたか。 よくできた      できた      やや不十分      不十分 [ ]
知 識 ・ 理 解	・ 模擬店開催を通して店舗経営に必要な基礎的な知識を理解することができたか。 よくできた      できた      やや不十分      不十分 [ ]

( 2 ) 反省・感想

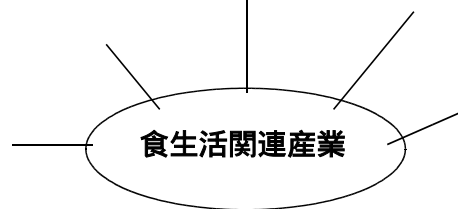
ワークシート例 1 1

**食生活関連産業の職業・資格マップを作ろう**

食生活関連産業にかかわる職業と資格についての表を完成させましょう。  
中央からでる線はいくつになってもかまいません。

ア 関心・意欲・態度  
イ 知識・理解

調理師：調理師学校（養成施設）に入学し，1年以上調理師として知識技能を修得（調理師試験免除）または，中学校を卒業後，2年以上調理実務を経験し，調理師試験に合格する。



教師の評価補助簿の例 その1

評価方法について良い点や気付いた点などを記録する補助簿である。教師による観察だけでなく、自己評価などをあわせて記録することにより、一人一人の生徒の状況を把握して自己評価の低い生徒の指導や指導方法の工夫改善に生かすことを意図している。

題材	(1)食生活の変化と食生活関連産業のかかわり					(2)店舗見学による外食産業の実態調査				(3)食物バザーの店舗の企画							(4)食生活関連産業の職業と資格												
	1・2限 ( / )		3・4限 ( / )			5～8限 ( / )			9～12限 ( / )				13限 ( / )			14・15限 ( / )				16限 ( / )		17限 ( / )							
観点	関	技	思	技	知	関	思	技	知	関	思	技	知	関	思	技	関	思	技	知	関	思	技	知	関	知			
	評価方法	ワークシート例1(3)d	ワークシート例1(3)c	ワークシート例2(2)	ワークシート例2(3)	ワークシート例2(5)	取組状況の観察	ワークシート例3(3)	ワークシート例4(1)	取組状況の観察	ワークシート例4(2)の ポスターの内容 (グループ評価)	ワークシート例3(5)	取組状況の観察	ワークシート例5(8)	取組状況の観察	ワークシート例5(1)・(8)	ワークシート例5(4)・(7)	ワークシート例5(8)	ワークシート例7	ワークシート例7	ワークシート例8	ワークシート例8	ワークシート例8	ワークシート例8	ワークシート例9	ワークシート例9	発表の観察	ワークシート例9	ワークシート例11
取組状況の観察			学習カード	学習カード	事後のペーパーテスト													取組状況の観察											
生徒氏名																													

複数の評価項目がある場合は、それぞれ評価し、項目ごとに重み付けをして評価を算定する。(26ページ参照)

## 教師の評価補助簿の例 その2

座席表を利用した教師の評価補助簿例

(主にグループ活動の際に、各生徒の関心・意欲・態度や特記事項等を観察・記録する)

項目名 食物バザーの店舗の企画 ( )年( )組 月 日 限

教 卓

1 班

名前A		名前B	
取組 状況		取組 状況	
特記		特記	
名前		名前	
特記		特記	

2 班

名前		名前	
特記		特記	
名前		名前	
特記		特記	

3 班

名前		名前	
特記		特記	
名前		名前	
特記		特記	

4 班

名前		名前	
特記		特記	
名前		名前	
特記		特記	

## 4 観点別評価の進め方

### (1) 関心・意欲・態度

#### 評価の工夫

ここでは、食生活関連分野の生活産業の種類や特徴、関連する職業について関心をもっているか、進んで学習活動に取り組んだり、意欲的、積極的に課題解決をしようとしているかなどについて評価する。

具体的には、インターネットを活用した調査、ポスターセッションによる発表、店舗見学による外食産業の実態調査、食物バザーのための店舗企画などの学習への取組状況を、教師による観察、ワークシート等の提出状況や内容などにより、多面的に評価することとした。その際、進んで計画し実践しようとする意欲や態度に着目し、一人一人の学習状況や変容の姿などを把握するように心がけた。

本題材では、調査や店舗見学などを通して、食生活関連分野の生活産業の種類や特徴、関連する職業について関心をもたせ、学習活動をまとめたり発表したりする学習活動の場面を適切に設定することにより、生徒の意欲を高めるとともに、商品やサービスを利用する立場から提供する立場への意識の変容を把握できるように評価を工夫した。

「十分満足できると判断される」状況（A）と評価される生徒の具体的な状況の例

- アの ・食生活の変化の実態と食生活関連産業の種類や特徴について、さらに多くのキーワードを用いて調査をしたり、他の資料を参考にした上で情報収集を行っている。
- アの ・グループの話し合いに積極的に参加し、率先して意見を述べたり、友人の意見などを生かし、協力して発表用にまとめようとしている。また、調査結果をもとに目的を明確にし、よりよい発表計画を立てようとしている。
- アの ・ワークシートに、課題意識をもって聞き取った内容や気付いたことをまとめて、自分の考えが記述されている。  
・ポスターセッションをグループで協力して取り組んだり、他のグループの発表にも熱心に参加し、積極的に質問したり、自分の意見を表明している。
- アの ・ワークシートに、食生活関連産業における職業とそれに必要な資格について、多くの事例をあげて、職業と職業資格のかかわりや資格の取得について記述されている。

#### 指導上の留意点

計画的な評価は必ずしも毎時間設定する必要はなく、指導内容により学習のまとめりごとで行う。しかし、教科の特質から「努力を要すると判断される」状況（C）と評価される生徒への対応が遅れないよう、毎時間の授業における生徒の活動状況を十分把握し、一人一人の生徒に応じた助言や具体例の提示などを行ったり、グループでの取組を考えさせたりすることが重要である。また、事後のできるだけ早い時期に個別指導による、具体的な指導を行うことも大切である。そのため、ここでは、指導と評価の一体化を図るための工夫、「努力を要する」ととらえられる生徒への手だて、生徒の状況から「努力を要すると判断される」恐れのある生徒に対する手だてなどを記している。なお、この考え方は他の三つの観点についても同様とした。

- ・ポスターセッションに関心が低く、グループの活動に積極的に参加できない生徒については、計画時に活動への参加を促したり、グループの発表を注意深く聞き、発表内容をまとめたものを見直すなどして分かったことをまとめられるように支援する。また、指導の中で生徒の意見を表明できるような機会を設ける。（ ）（ ）
- ・各自の進路希望とかがかわせたり、将来の職業生活をイメージさせて興味をもたせるようにする。（ ）

### (2) 思考・判断

#### 評価の工夫

ここでは、産業現場の見学、調査などの学習活動の中で、課題をどのようにとらえているか、課題解決を目指して自分なりに工夫をしたり、自分の考えを生かした取組をしているかなどについて評価する。

具体的には、食生活関連産業と食生活の変化とのかかわりについての学習カードや、食物バザーの店舗計画の内容などにより、課題解決に向けての創意工夫の状況を評価することとした。その際、学習を終えたときの考えだけでなく、学習過程においてどのように考えたか、一人一人の個性を生かして創意工夫ができたか、今後の生活産業の発展の方向を考えたり、興味・関心の対象が広がったかなどをみるように心がけた。また、ペーパーテストにおいては思考・判断を問う問題も工夫するなど、多様な評価方法を取り入れるとよい。

「十分満足できると判断される」状況（A）と評価される生徒の具体的な状況の例

- イの ・収集した情報をもとに、食生活の変化と食生活関連産業のかかわりを社会の変化、家庭生活の変化などの視点から考え、自分なりの考察をしている。
- イの ・学習カードやグループ内のさまざまな意見を分析・統合し、食生活の変化と食生活関連産業のかかわりについて、十分な考察がまとめられている。
- イの ・外食産業に関する種類の異なる店舗を比較検討し、それぞれの店舗の特徴や企業の工夫につ

- いて記述したワークシートの中に料理の特徴やBGM,店員の態度や言葉遣いなど,指示された項目以外からの多角的な考察がみられる。
- イの ・店舗の企画について,機能,デザイン,コスト等の面から思考を深め,複数の企画案を書き,工夫を重ねている。

#### 指導上の留意点

- ・調査の結果等をまとめる際,なかなか考えがまとまらない生徒に対しては,身近な生活を事例に取り上げたり,具体的な例を示し,まとめたい内容について考えられるよう助言する。
- ・ねらいが明らかになるように,学習の流れにそってワークシートを工夫し,一連の学習から答えが導き出され,自分の思考について確認できるようにする。
- ・具体的な企画案がまとまらず,自分の考えが提案できない生徒に対しては,グループでの話し合いへの参加を促し,店舗見学でのまとめと考察をもとに工夫できるように支援する。

### (3) 技能・表現

#### 評価の工夫

ここでは,生活産業と職業に関する学習の調査,見学などについて,計画を立てて実践するとともに,学習活動のレポートをまとめたり発表したりすることができるかについて評価する。

具体的には,生徒が収集した情報や,学習カード,発表内容をまとめたポスター,ワークシートの内容などにより評価することとした。その際,まとめ方の技能や表現について評価するだけでなく,課題の目的が的確にとらえられたか,目的を達成するために適切な方法を選択できたか,まとめにおいて特徴や気付いたことを加えて表現できたかなどを評価するように心がけた。

- 「十分満足できると判断される」状況(A)と評価される生徒の具体的な状況の例
- ウの ・課題を解決するための調査が十分になされており,学習に役立つ資料として活用できるものを取捨選択して,適切に分類整理がなされている。
  - ウの ・調査した内容を吟味し,取捨選択した上で,理解したことや考察した内容を図式化したり,図表や写真,補足説明を加え,分かりやすく自分なりの工夫を行いながらまとめている。
  - ウの ・班員の学習カードを分類・整理し,追究した課題と発表内容が図表,写真,補足説明等によって明確になるような工夫がなされ,テーマについての考察が表現されている。  
・理解したことや考察した内容を分かりやすく,工夫して発表用にまとめている。
  - ウの ・さまざまな情報をまとめ,発表方法を聞き手に分かりやすいように工夫したり,発表用のまとめを適切に活用したりして学習の成果を表現し,ポスターセッションに積極的に参加している。
  - ウの ・外食産業などに関する調査が計画的に実施され,ワークシートの各項目について図や写真,資料などを用いて記入されており,考察も十分なされている。
  - ウの ・店舗および販売員の服装,パッケージについて,カラーの図や写真などを用いて具体的に分かりやすく表現している。また,パッケージの見本をていねいに製作している。

#### 指導上の留意点

- ・インターネットによる情報の収集においては,生徒が目的とする情報を得られるように,教師がキーワードを示すなど適宜助言する。( )
- ・ポスターセッションの発表については,活動計画,まとめ方や資料の活用方法について,各グループの進捗状況に応じて助言したり支援したりする。( )

### (4) 知識・理解

#### 評価の工夫

ここでは,食生活の変化と食生活関連産業のかかわり,生活関連産業の意義と役割,食生活関連産業の職業と資格などを理解しているかについて評価する。

#### 指導上の留意点

- ・インターネットによる情報の収集においては,生徒が目的とする情報を得られるように,教師がキーワードを示すなど適宜助言する。( )
- ・ポスターセッションの発表については,活動計画,まとめ方や資料の活用方法について,各グループの進捗状況に応じて助言したり支援したりする。( )

具体的には,ワークシートの内容,ペーパーテストなどにより評価した。その際,学習目標を生徒に明確に示し,習得すべき生活産業と職業に関する基礎的・基本的な知識を確実に身に付けさせるようにする。また,ペーパーテストでは調査や発表での学習をより確かなものにするための評価の工夫を心がけるようにする。

- 「十分満足できると判断される」状況（A）と評価される生徒の具体的な状況の例
- 工の ・食生活の変化と食生活関連産業のかかわりについて、収集した資料を適切に活用しながら、具体的に理解したことがまとめている。
  - 工の ・食生活関連産業の意義や役割について、自己や他の発表から理解した内容の記入がなされ、食生活の変化と食生活関連産業のかかわり、食生活関連産業のこれからの課題について具体的にまとめている。
  - ・事後のペーパーテストに、食生活関連産業の意義や役割についてや、社会の変化や家庭生活の変化と密接にかかわりながら食生活が変化し、生活産業が発展していることについて理解し、知識として身に付け、自分なりの考察を加えて解答している。
  - 工の ・食生活関連産業における職業と資格について、理解した内容をワークシートに具体的にまとめ、関心をもった職業について例をあげて説明できる。

指導上の留意点

- ・ペーパーテストの結果や、ワークシートの内容などから、理解の状況を把握し、理解が十分でない場合は、不足箇所について補う工夫をする。

5 観点別評価の総括

(1) 題材又は単元ごとの観点別評価及びその総括について

各題材又は単元で身に付ける資質や能力を明確にし、題材又は単元ごとの評価計画を作成して具体的な評価規準を設定する。その際、題材によって重視する観点や評価規準があれば、評価計画作成の段階から評価回数を多くしたり、重み付けをしたりするとともに、観点の趣旨にふさわしい評価方法を適切に選択し、組み合わせるなど多角的に評価することが必要である。

また、一つの評価規準に対して複数の評価方法がある場合には、あらかじめ各評価方法による評価規準のとりまとめ方法についても定めておく必要がある。

題材又は単元ごとの観点別学習状況の評価は、次のような手順で行う。

題材又は単元の単位時間における具体的評価規準に照らして、毎時の授業における観察、学習カードの記入状況、ペーパーテストなどにより、A、B、Cで観点別の評価を行う。

で行った毎時の授業における評価のA、B、Cに点数を当てはめるなどして観点別に総括する。

その際、観点ごとの合計点又は平均点について、「満点の %以上であればAとする」などと定めておくことにより、題材又は単元の観点別学習状況の評価を算定することができる。

本事例における観点別学習状況の評価の重み付けは、以下のとおりとした。

(例)

観点	ア関心・意欲・態度	イ思考・判断	ウ技能・表現	エ知識・理解
	1 5 % (10%+5%)	1 5 % (10%+5%)	1 0 %	2 0 % (10%+10%)
	1 0 %	1 5 %	1 0 % (5%+5%)	2 0 % (10%+10%)
	1 5 % (10%+5%)	1 5 %	1 5 % (10%+5%)	1 0 %
	1 5 % (10%+5%)	1 5 %	1 5 %	1 0 %
	1 0 %	2 0 %	1 5 %	1 5 %
	1 5 % (10%+5%)	2 0 %	1 0 %	1 0 %
	1 0 %		1 5 %	1 5 %
	1 0 %		1 0 %	

一つの観点の中に複数の評価項目がある場合は、それぞれの項目について（ ）内の重み付けをする。

(2) 学期及び学年の各科目の観点別学習状況の評価

(1)と同様の方法で、題材又は単元ごとの観点別学習状況の評価を行い、四つの観点ごとに総括して、学期ごとの観点別学習状況の評価とする。同様の方法で各学期の観点別学習状況の評価を算定する。

この他にも、観点別評価の総括については様々な考え方や方法があり、各学校において工夫することが望まれる。